



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を  
一人一人が輝く子どもの姿を求めて

☆2月の目標

- ☆学習をがんばる
- ☆みんなとなかよく
- ☆笑顔であいさつ
- ☆かぜをひかない

☆配布物のお知らせ

- 1 学校便り

☆今後の行事計画

- 3月17日 卒園式・卒業式
- 4月14日 入園式・入学式

※紙面の都合で、作文等を短くすることもあります。ご了承願います。

☆六年一組

自然に学ぶ暮らしを読んで

鈴木 涼花

私は、「自然に学ぶ暮らし」を読む前に、自然と人の関わりについて考えました。私は、人と自然の関わりが未来にはなくなっていると思います。

私がなぜ自然との関わりがなくなると思うかというと、最近子供は携帯で友達と話したりゲームをしたりして遊んでいます。なので、外に出て遊ぶ人は昔より少ないと思います。実際に調べたところ、小学生でも携帯電話を持っているのが約4割、中学生は約5割、高校生は約9割以上という結果でした。この結果から、携帯を利用している子供が多いのが分かります。私は外に出て自然にふれるのも大切だと思いますが、その時間は減っています。これらを理由に、私は人と自然の関わりがなくなっていると思います。

私は筆者と考えが真逆なので共通点はありませんが、相違点があります。例えば、生き物の泡をおふろに使う事についてです。科学者は研究の事について進んでいると言っていますが、研究にかけている時間の最中に色々な資源がどんどん失われていると思います。そして、その最中に新しいアイデアが浮かんでくると、あれだ、これだ」と言って研究は進まなくなると思います。

☆六年一組 自然に学ぶ暮らしを読んで

佐藤 隼人

ぼくが考える未来の社会は、コンピュータ化が進み、ロボットと人が一緒に生活している社会です。今もロボットはたくさん作られていて、色々な種類があります。そうじをするロボットや、運転手のいない車などです。これからは、どんなふうの車がなくなると、自動の車が町のまわりをいっぱい走っている。ロボットの車がほとんど使われると、ルールを守って走る車がほとんどになるので、事故の数が少なくなると思います。また、車を運転できなくなったお年よりの人たちも、他の人にたのまなくて、行きたい所に行きやすくなるかと思っています。

ぼくがこう考えたのは、ニュースで自動運転の車のショーを見たからです。他にもニュースで、コンピュータがいごで人に勝った様子などを見て、どんどんコンピュータがかしこくなっていると思うからです。だからロボットができる事もっと増えると思うからです。

筆者の考える「新しい暮らし方」は、動物の考えや自然を取り入れた暮らし方だ。けど、ぼくの考える「新しい暮らし方」は、新しいロボットを利用していくことです。ロボットを利用することで、今までできなかったこと、たとえば、力の弱い人でも重いものをはこぶ事ができたり、遠くまで出かけたりできるようになって、もっと便利な社会になるといいなと思います。

☆六年一組 自然に学ぶ暮らしを読んで

近藤 和暉

にぎやかなこの道には、無人ドローン屋さんが最近オープンし、話題をよんでいる。空を見上げると、東京スカイツリーがただの木に見えてしまうほど高いビルが無数にそびえ立ち、そのすきまをスイスイと無人飛行車が泳いでいく。ぼくは、こんな未来はそう遠くないと思う。

人間の文明は、ここ数十年の間に目覚しく発展してきて、きつとこれからもおとろえることを知らないからだ。私たちが知らない間、今ぼくが話している間にも、テクノロジーはどんどん進化している。コンピュータやスマートフォンなどがその代表だ。電話もものの45年足らずでボタンがなくなり、液晶画面がついた。だが、ぼくの考える未来と筆者の考える未来は、違う箇所がある。確かに新しいエネルギー開発や、新型のお風呂など、人間の技術が向上しているという点では筆者と同じだが、ぼくは資源のことについては一切ふれていない。きつと、筆者の提案する「新しい暮らし方」をして、使用するエネルギーを減らす、などの工夫を施さなければ、ぼくの理想の未来は成り立たないだろう。

人間のテクノロジーは日々進化し、いたる所で使われていく。だが、その資源が無くなれば進化が止まってしまふ。もし、今のうちから省エネや新しいエネルギーの開発に全力を注げば、未来は明るくなり、文明も絶えることなく続くだろう。

☆三年一組 自分の名前の由来

日野 瑞貴

ぼくの名前は、瑞貴です。  
瑞は、よい知らせをもたらしてくれる意味があります。

貴は、お父さんの名前からもらいました。とても大切という意味です。

ぼくが、生まれてとても喜んだお父さんとお母さんが、しあわせをばこんできたぼくを大切に育てたいと思って名前をつけてくれました。はじめてぼくの名前の由来を知ってびっくりしました。

☆三年一組 自分の名前の由来

村上 正頼

ぼくの名前は正頼です。「正」という字は、正しいという意味で「頼」は、頼りになるとか頼られるという意味です。

ぼくは、この意味を知って、びっくりしました。なぜならぼくの名前にちゃんとした意味はないと思っていました。意味を知ってそういう人になりたくありません。

父と二人のおじいちゃんの名前にはすべて「正」という字が入っています。なので、男の子には「正」をつける予定だったということです。「頼」の字は、よい画数になるように選んだそうです。名前の画数でよい運せいになるそうです。よい意味で運のある名前だと知ってうれしく思いました。

☆三年二組 自分の名前の由来

デイビス 麗子

わたしのお母さんは、わたしが生まれる前にわたしの名前をれい子と決めました。れい子のれいは、きれいのれいでうつくしいという意味があります。もう一つは、明るくておだやかという意味もあります。

お母さんは、わたしがうつくしく、明るくおだやかな子にそだってほしいと思ったそうです。わたしは、この名前をもらってうれいす。れい子のれいはきれいという意味があるからすきです。「れい子の子は、天子の子がきた」とお母さんが言っていたので、もっとすきになりました。わたしは、自分の名前のような人になりたいです。

☆三年二組 自分の名前の由来

小針 未暖

私の名前は、未暖です。未暖という由来をせつめいします。まず、「未」のせつめいします。「未」には、のびのびと育つように、また、たくさんのかうせいがあるようにという意味があるそうです。

次に、「暖」のせつめいします。「暖」には、ふんわりとしたぬくもりをあたえる、やさしいひとになるように、また、愛情やお金に恵まれるようにという意味があるそうです。わたしは、自分の名前を知って、すごいと思いました。なぜなら、わたしのこれからのいい人生になる気がして、うれしくなったからです。これが、わたしの名前の由来です。

☆三年二組 自分の名前の由来

鈴木 桔平

ぼくの名前の由来は、とくにありません。ただ、よびやすく、桔平という音のひびきがすきでつけたそうです。

よく言われるのは、お母さんが、しいな桔平ずきな、と聞かれますが、まったくかんけいなくいす。

ぼくは、自分の名前をとても気に入ってすまが、由来がないのはちよつぱりさみしいです。

☆二年一組 二〇一八年がんばりたいこと

サリバンコリン

ぼくの二〇一八年の目ひようは、空手で茶色のおびを早くとることです。

そして、わすれものやなくしものをしなないことです。

☆二年一組 二〇一八年がんばりたいこと

ふく田 りょう

ぼくは、二〇一八年にがんばりたいことは、字をていねいに書くことです。字をていねいに書くために毎日、書写をやります。あと、九九のあんしようテストをがんばりたいです。そのため、毎日九九のれんしゅうをします。